



# 学校だより

新潟市立中之口東小学校 2025. 8. 29  
第388号 児童数110名  
ホームページ  
<https://www.kiranico.jp/>



## しめさば

校長 小森 康貴

私が小さいころ、たまに食べるごちそうといえばお寿司でした。しかし、その頃は、今のよう  
に回転寿司はありませんでしたので、近所の寿司屋から出前を取っていました。私の家は、あまり裕福  
ではなかったので、いつも一番安いお寿司でした。もちろん、中トロやイクラといった高級なお寿司は  
一つも入っていません。庶民的なお寿司が7個と巻物半分といった内容でした。それでも、私にとっ  
ては最高のごちそうでした。

その中にしめさばが入っていました。私にとって、しめさばは一番苦手な食べ物でした。そのた  
め、いつも母親に食べてもらっていました。食べ物を残すことをよしとしない母親が、私の残したし  
めさばを笑顔で食べていた記憶は今でも鮮明に残っています。

大人になってから、寿司屋に行く機会がありました。その寿司屋は、メニューがなく、注文をしな  
くとも次々とお寿司が出てくる場所でした。もちろん、何が出てくるか分かりません。まぐろや貝  
などの大好きなお寿司が続いた後に、大嫌いなしめさばが出てきました。久しぶりにしめさばを見ま  
した。すぐに「嫌だなあ」「食べたくないなあ」と思いました。残すことも考えましたが、頑張って  
食べることにしました。目をつぶり、勇気を振り絞ってしめさばを口に入れました。すると、口の中  
に衝撃が走りました。信じられないくらいおいしかったのです。その日から、私のしめさばに対する  
印象は180度変わりました。今では、しめさばが一番好きな食べ物です。一番嫌いだった食べ物  
が一番好きな食べ物になったのです。まさに、価値観が一変する経験でした。

日々の生活は、選択の連続です。それは、子どもにとっても同じです。自学の内容、図書館で借り  
る本、休み時間や放課後の過ごし方など、日常生活でも選択することはたくさんあります。そのよう  
な選択の中で、「やってみたいけど一歩踏み出せないこと」や「嫌だけどやった方がよいと感じるこ  
と」について、やるかやらないか選択をしないといけない場面があると思います。そのときは、挑戦  
する方を選択してほしいです。もちろん、挑戦するということは失敗する可能性もあります。「やっ  
ぱりやらなければよかった」と後悔することもあると思います。そのときは、嫌な気持ちになると思  
いますが、長い目で見れば、その失敗や後悔も学びになります。もしかすると、私のように価値観が  
一変することがあるかもしれません。そのチャンスをつぶしてしまうのはもったいないです。

とはいえ、小学生が自分一人で選択するには難しい場合もあります。そのときは、大人の後押しも  
必要になります。そこで、保護者の皆さんにお願いです。お子さんが、挑戦しようかどうか迷って  
いるとき、ぜひ、挑戦する方を選択できるように背中を押してください。もし、挑戦した結果、後悔す  
る結果になってしまったら、挑戦したことを褒めてあげてください。よろしく願います。